

ハリウッド・ジャーゴン —現代アメリカ英語スラングの研究—

山田 政美*・田中 芳文**

Masayoshi YAMADA and Yoshifumi TANAKA

Hollywood Jargon : A Study of

Present-Day American Slang

[キーワード：アメリカ英語, 俗語, ジャーゴン, ハリウッド, 映画]

[序 論]

社会の特定の職業やグループに所属する人たちが、その仲間うちで使う特有な言語が存在する。“jargon”(職業語)と呼ばれるもので、これはその言語使用者以外の社会の構成員もまた、全てとは言わないが、共有する必要があるのが現代社会の状況である。すでに、山田(1990) [現在は山田(1993)], 山田(1992), 山田(1997), 山田(1998)で、いくつかの分野の言語を検討してきた。また、田中(1996a), 田中(1996b), 田中(1997), 田中(1998)も新しい分野へ切り込んだ検討を始めた。

Hollywood と言えば、米国映画産業の中心である。Freeman(1993)はこの映画業界で使われる特有の「ことば」をわざわざ議論したが、そのような「ことば」であることを知っていなければ、次の会話の内容を理解することは困難であろう。

“So what did the *golden retriever* say?”
“He wants an *E ticket*, but for a price.”
“I thought it was *Rites or Sprites*.”
“That was yesterday. *Here comes the rewrite*.”
“This town, this town.”

golden retriever は「映画会社の敏腕重役」のことであるが、Jeffrey Katzenberg を指す呼び名であった。Katzenberg は Disney Studios の前会長で、Steven Spielberg らと1994年に DreamWorks/SKG を創立したが、Paramount 映画会社の製作部長 (production executive) をしていた時に、多くの重役の中からめきめきと頭角を現したところから、彼を最初にこう呼んだも

のである。猟犬のレトリバー (retriever) が射止めた獲物をくわえて水の中から出てくるイメージと重ねたものである。

E ticket は、「激しいアクションシーンのある映画」のことである。数年前までは Disneyland で *E ticket* と呼ばれる券を持っている人しか、最高に興奮する乗り物に乗れないことがあった。そこで、観客を思いがけないスリル (thrills and spills) で興奮させる映画を *E ticket* と言う。

for a price は、「できるだけ安い値で」という意味である。世の中の経済的状況が芳しくない時の、一種の合いことばである。映画製作者からすれば、“We went to green-light this picture if we can make it *for a price*.” (この映画が安く製作できるということならゴーサインを出したい) などと言う。*E ticket* は法外な制作費が必要なものである。

Rites or Sprites は「ヤング・アダルト物か美わしき女性物か」ほどの意味。“rites of passage” という言い方は、人生の節目の通過の際に行われる通過儀礼のことで、このような主題を扱った映画は “a rites of passage movie” (または “coming of age” と呼ぶ) で、大人になるために苦悩する若者を描くものである。「自由な精神の持ち主」のことを “a free spirit” と呼ぶが、柔らかな帽子をかぶって、木にも話しかけるような気ままで若く、可愛い女性を指す。息が詰まるような男でも、このような女性に出会えばたちまち心が解されるのである。

Here comes the rewrite は「ここは台本の書き直し」という意味である。映画台本はいくつか書き直して場面を撮ってみて、最終的にどれかに決めて製作に入る。どれがストーリーや登場人物をより良く見せるのかを試行

錯誤するのである。

this town は、「この町にはこれしかない」という意味である。土地が違えば同じものでもうまく行くこともあり、うまく行かないこともある。土地柄を知ることが成功の鍵である。

以上のことから、最初の会話は次のようになる。

「その映画会社の重役の意見はどうだったんだ？」
 「アクション映画の超大作をやりがっている。ただし、制作費をできるだけ抑えてという条件付きだ」
 「てっきりヤング・アダルト物かかわしき女性物だと思ったんだがね」
 「昔ならそれでよかったんだ。ここは台本の書き直し、ってとこだね」
 「ここじゃそれが当たるんだろうね、ここじゃね」

以下では、特に Crotty (1997), Dunn (1997), Wilson (1998) などを参考にして Hollywood 業界で使われる「ことば」を検討する。

[本 論]

A

above the line (制作費が) 撮影開始前に赤字で。▷監督, 俳優, プロデューサーへの支払いが赤字の原因であることが多い。反対は **below the line** となる。

AD エーディ, 助監督. *assistant director* の頭文字。

Alan (or Allen) Smithee アラン・スミジー: 映画のクレジット (credit) の中で使われる仮名。▷自分の原案を改変されたため実名での表記を好まない監督が使う。例えば, 次の作品 [() 内の監督名は実名] ではこの仮名が使用された。 *Fade In* (Jud Taylor, 1968年), *Ghost Fever* (Lee Madden, 1987年), *I Love N.Y.* (Gianni Bozzacchi, 1988年), *Catchfire* (Dennis Hopper, 1991年)。例えば, Castell (1995) で *Fade In* を調べると, 監督名は確かに Allen Smithee と書いてある。

A-list 最高の。▷ *I want nothing but A-list talent for this picture!* (この映画には最高の役者しかいらぬ!)

ancillary rights 映画台本作家が, 映画のポスター, 本, CD, Tシャツなどの販売で入る利益の配分を受ける権利。

angel 「天使」: 自主映画製作のための資金を提供してやろうという個人の資金提供者。

animal wrangler ⇨ **wrangler**

ankled (大物の役者が) 甲の映画会社を辞めて乙の映画会社へ移った。▷ (一般俗) でも「仕事をやめる, 退職する」の意味で使う。 *ankle* (「くるぶし」⇨「歩いて行く」) から。新しい会社に入ると *put up a shingle* (看板を出す) と言う。⇨ **gobi**

apple box 「リンゴ箱」: 映画セットで使う合板でできた建築用のブロック。▷ (俳優の背を高く見せるための) 踏み台として使うときは *man-maker* とも呼ばれる。

A-roll ⇨ **B-roll**

associate producer アソシエート・プロデューサー, 准プロデューサー。▷コメディアン Fred Allen のことば。

attached 俳優や映画製作スタッフが映画企画の契約にサインをした。▷ *We're almost set to go — we've got Joe Eszterhas attached as screenwriter.* (これで十中八九製作が開始したことになる—ジョー・エステラスに脚本家の契約を取り付けたからだ)

author, v. (脚本を) 書く (to “ink”)。

B

B- 二流の。▷ **B-movie** (二流映画), **B-material** (二流の題材)。

baby legs 「赤ん坊の脚」: 小さい三脚 (tripod)。▷ **shorty** とも呼ぶ。⇨ **sticks**

baby spot ベービー・スポット: (撮影で使用する) 500ワット, または700ワットのランプ。

baby wrangler 赤ん坊の演技指導係。▷ *wrangler* はもともとは「牧場の乗用馬係」のこと。⇨ **wrangler**

back end バック・エンド: 映画の劇場での興行, ビデオ版, 小説版の出版, サウンドトラック盤, おもちゃ, などの一連の企画から上がる収益から, すべての出費を引いた純益の合計。

backstory バックストーリー: 登場人物の現在の行動を明らかにする過去。▷問題の登場人物が画面に現れるまでにスクリプトに書き込まれているもの。 *Ned's backstory is that his father always told him he was a screw-up. So now Ned figures, well, why not screw up big-time?* (ネッドの過去に遡ると, 父親はいつも彼にろくでなしだと言っていた。だったら, いやと言うほどだめになってやろうじゃないか, とネッドはいま考えている)

baffle blanket (映画撮影用の防音設備をした) サウンドステージ (sound stage) と呼ばれる建物に, 反響音 (reverberation) が当たるのを防ぐために使われる移動式の防壁。

banana バナナ: (俳優が) 撮影カメラの前を焦点がは

ずれないように曲線を描くように歩く。▷カメラの前を直線的に通るのではなく、バナナ (banana) の形のように曲線を描いて歩くところから。

bananas on bananas 状況喜劇 (sitcom) の中での度を過ぎたギャグ。▷同じ手ではパンチがきかない。Just have Mike and Jim fall off the boat. Having Ellen do it too is just *bananas on bananas*. (マイクとジムをボートからころげ落ちさせる。エレンにも同じ事をさせるのはやりすぎだ) ⇒ **sitcom**

bang 映画宣伝用ポスターの中の感嘆符 (!)。▷迫力のない見出しに刺激を与えるために付けられる。

bankable (映画スターが) 金になる。▷映画製作の資金調達を保証できるほどの人気のあるスターのこと。

bazooka バズーカ：撮影所のキャットウォーク (cat-walk) で使われる補助照明。

BCU ビー・シー・ユー：スクリーン上いっばいに広がった顔のアップ映像。▷ *Big Close Up* の頭文字。

beat ビート：ストーリーの重要な点、あるいは感情が盛り上がる場所。▷ Okay, *beat* one, the husband says he's off to a business meeting in New York. *Beat* two, the wife unpacks his suitcase and finds a matchbook from a hotel in Miami. (よし、第1ビートは、夫がニューヨークへ出張に出かけるところ。第2ビートは、妻が彼のスーツケースを開けてマイアミにあるホテルの紙マッチを見つけるところ)

below the line ⇒ **above the line**

best boy ベスト・ボーイ：照明係主任 (gaffer) やセット・技術係主任 (key grip) をサポートする助手。⇒ **gaffer, key grip**

between brads (台本が) 完璧な。▷ brad は紙を綴じる留め金文具。ページがしっかりと綴じ込んでいることを「ブラッドの間に綴じ込まれた」と言ったもの。

bimbo ビンボー：演技力はともかく、容姿で有名な女優。⇒ **hunk**

biopic バイオピク、伝記物：歴史上の有名人物を描いた映画やテレビ番組。

blimp ブリンプ：撮影用カメラに付けてある防音カバー。

blockbuster ブロックバスター：大ヒット映画。

bloom ブルーム：撮影用カメラに突然当たる反射光。

B.O. ビー・オー：映画切符の売り上げ。▷ **box office** の頭文字から。⇒ **box office**

boffo バッフォー：(映画が) 大当たりの。大当たりの映画は **buff**。

bomb 「爆弾」：興業収入での失敗。

bow 「おじぎ」：映画公開初日 (premiere)。

box office 映画のチケット売り上げによる収入。観客の吸引力があって映画会社に利益をもたらす俳優の潜在能力。略して **B.O.** とも言う。Home Alone had strong *box office*. (『ホーム・アローン』はすばらしい興業成績を残した) / Paul Newman is good *box office*. (ポール・ニューマンは観客を魅了して映画会社を儲けさせてくれる) ⇒ **B.O.**

boy-meets-girl 「少年が少女に出会う」：お決まりの恋愛映画。▷ *Romeo and Juliet* is the classic "boy-meets-girl" story. (『ロミオとジュリエット』は古典的な恋愛映画だ)

B-roll ニュース内容を明らかにする映像。▷ **A-roll** はニュース放送の中のインタビュー映像や、リポーターがカメラに向かってレポートしている (stand-up) 映像部分のこと。I need *B-roll* of the protest march. (デモ行進の映像が必要だ) ⇒ **stand-up**

'bu, the マリブ (Malibu)。▷ California 州 Los Angeles 西方の海浜地で、高級住宅街。Hollywood スターの住宅も多い。サーファーのメッカでもある。

buck 10万ドル。▷一般的には1ドル。賭博では100ドルを指すこともある。For ten *bucks*, Uma will do our picture. (10万ドルで、ウーマは我々の映画をやるだろう)

buff ⇒ **boffo**

bumper バンパー：(劇場の) 大入り。

business, the テレビ産業；映画産業。▷映画とテレビの合同ビジネスを指すこともある。⇒ **industry, the**

buzz 娯楽産業での新作映画の評判。▷しばしば、映画の広報担当やメディアによって誇大に宣伝される。

C

cable-access ケーブル・アクセス。▷地域本位のテレビ番組編成のことで、多作ではないがそれぞれが高い娯楽性があるもの。連邦法で、ケーブルテレビ会社は最低1チャンネルは無料・コマーシャル無しで視聴者への番組提供を義務づけている。

callback (俳優への) 再オーディションの案内。

cattle 「家畜」：俳優。▷ Alfred Hitchcock が "Actors are like cattle." と言ったところから。cattle call は「集団オーディション」のこと。家畜のように大勢の応募者が集まるところからまとめて行方。open-call audition とか go-see (ファッションモデル業界語) とも言う。

cattle call ⇒ **cattle**

C-47 映画セットで多量に使われる木製の洗濯ばさみ (clothespin)。▷映画関係用品のカタログにある商品

番号から。

chopsocky チョップソッキー：カンフー映画。▷香港から入ってきて1970年代にピークを迎えた。Bruce Lee (1940-73) や Jackie Chan (1954-) などの大スターが有名。*chop* は空手などのチョップ(の一撃)、*sock* はげんこつ(の一撃)のこと。

cold open テレビ番組の最初のオープニングの部分。

color commentary スポーツの試合の実況中継に変化と面白さを加えるための背景的情報、分析、おしゃべりなど。選手や試合の背景説明をする解説者は *color commentator* と呼ばれる。

content provider 「内容提供者」：作家。

corrective surgery 「矯正手術」：ゲーム番組の参加者募集に応募してきた希望者をオーディションで落とすこと。▷不快な人物だとか、優秀すぎるとか、行動が変わっているとかの理由から振り落とす。

coverage 台本に対する評価報告書。▷映画会社のストーリー・アナリスト (story analyst) によって行われる。
⇒ **log line, reader**

cow pasture ⇒ **fresh air exhibitor**

craft クラフト、俳優業。▷俳優が自分の仕事のことを指して、いらいらして言う時の呼び方。

craft service クラフト・サービス：撮影所のセットにあるスナック・フードの置いてあるテーブル。

crash and burn 「潰して燃やす」：ストーリーをご破算にする。

crash TV お色気や激しさが売り物のスポーツ番組。▷有名なのが *American Gladiators* (1989年放映開始) [この子供版は *Gladiators 2000* (1994年放送開始)]。

crawl クロール：テレビ番組の最初や最後に画面上を流れるスタッフ一覧。▷ **creep** とも言う。いずれも画面上を「這う」：(crawl, creep) ように次々と表示されることから。

creative differences 「創作上の相違点」：トップの俳優が映画の製作を降りるときの理由を説明するためのもっともらしい口実。▷婉曲的な言い方。He left the project because of *creative differences*. (彼は創作上の相違点のためにその製作を降りたのだ)

creep ⇒ **crawl**

D

day for night 実際には昼間撮影されている夜のシーン。▷フィルターをつけて撮影する。

dead air (放送中の)沈黙時間。▷放送中に音声が流れない、あるいは映像が出ない瞬間。故意のものではない。

deal memo 合意に関する簡単な覚え書き。▷後でそ

れに基づいて正式な契約書が作成される。Bill Goldman's got a *deal memo* for the script. He's starting right away. (ビル・ゴールドマンはその台本に関して覚え書きを交わした。彼はすぐに仕事にかかるつもりだ)

D-girl(s) デー・ガール (*development girl(s)*)：ストーリーの粗筋を読んで、出演者に大急ぎで伝える役の女性。▷ *tracker(s)* とか *D-head(s)* とも言う。

development hell 「発展的地獄」：▷台本が買い取られても書き直しをされたり、製作のゴーサインが出るのを待っている間の嫌な時間。

“Dial it up!” 「台本や番組の興奮度を上げろ!」：作家や編集者への指示。ストーリー展開のペースを上げろということ。⇒ “Punch it up!”

DGA 米国演出家組合。映画監督や舞台・放送演出家の組合。本拠地は Hollywood (7950 Sunset Blvd., Los Angeles, CA 90046; (213) 282-2000; fax: (213) 289-2024) にある。President は Jack Shea が務める。the Directors Guild of America の略語。

D-head(s) ⇒ **D-girl(s)**

disease-of-the-week 週間トップの病気番組。▷1970年代から80年代に流行った病人や死期が迫った登場人物を扱うテレビ用映画。

doily pushing 撮影用セットの飾り付けの微調整。▷ Okay, you've got exactly one more minute for the *doily pushing*. Then we shoot the scene. (よし、セットの飾り付けをあと1分だけ。それからそのシーンの撮影をしよう)

done deal 映画やテレビの製作について合意したこと。▷ It's a *done deal!* (よし決まりだ!)

dope sheet 撮影される1カット、1シーンごとの詳細なリスト。▷《放送俗》でも同じ意味で使う。(《一般俗》では「競馬新聞」。

doughboys 仕出し業者 (caterers)。

dress, v. 撮影用セットを飾り付けたり、アレンジする。

dress the windows for night 窓から見える風景を夜の風景に模様替える。

drooling 放送時間が余ったのを埋めるために行われる即興のおしゃべり。▷ *drool* には「たわごと、ばか話」：の意味がある。⇒ **HINT**

ducat(s) ダカット：映画の切符。

E

ear candy イージー・リスニング音楽。▷ *elevator music* とも言う。

earwig 音声係が俳優の耳に付けさせて、台詞を付けた

り音楽を聞かせるための装置。▷例えば、*Holland's Opus* という映画では、ピアノ演奏の身振りをしてい
る俳優に、本物のピアノの演奏音を聞かせるためによ
く使われた。

echo dialogue エコー・ダイアログ：状況喜劇 (sitcom)
の中で、ひとりの登場人物が言ったばかりのことをもうひ
とりの登場人物が繰り返すこと。▷ Kramer says,
“Jerry, why is your cereal hidden in the bath-
room? And Jerry says, “Cereal? Bathroom?” (ク
レイマーが言う。「ジェリー、なぜお前のシリアルが浴室
の中に隠されているんだ？」すると、ジェリーが言う。「シ
リアル？浴室？」) ⇒ **sitcom**

elbow grabber 「肘をつかむ人」：TVのゲーム番組で
負けた参加者をエスコートして退場させる女性モデル。
“**ER stat!**” 「緊急救命室、大至急!」：▷昼食代の支払
いを自分のクレジットカードで済ませた後で、その代
金の返済をさせるために必要な明細書を揃えるように
と、エージェントがアシスタントを困らせ、せきたて、
がなりたてるときのことば。“*Expense report imme-
diately!*” ということ。*ER* は *expense report* (出費
報告書)の頭文字と、病院の *emergency room* (緊急
救命室)の頭文字を掛けたもの。*stat* はラテン語
statim ‘immediately’ からで、病院で使われる俗語。

ET イー・ティー：連続メロドラマ (soap opera) で、
登場人物に対して嫌なことをする友人。▷例えば、大
きな商談を横取りするとか、配偶者を誘惑する、など。
対立させることによって劇的な効果を狙う。*Evil
Twin* の頭文字。⇒ **soap**

event movies イベント映画：映画というよりむしろス
リル一杯のジェットコースターに乗っているといった
感じのする超大作。▷*Jurassic Park*, *Independence
Day*, and *Twister* are classic “*event movies*.”
『ジュラシック・パーク』『インディペンデンス・デー』
『ツイスター』は古典的な「イベント映画」だ)

exclusivity (映画の) 脚本には他にはどの作家も係わ
らない、という契約上の用語。

exex エグゼックス：経営陣。▷ *executives* の略語。

eyeballs 「眼球」：テレビ視聴者。▷ For advertisers,
*city eyeballs are better than rural eyeballs. They
spend more money.* (広告主にとっては、都市部の視
聴者の方が田舎の視聴者よりいい。彼らの方がお金を
より多く使うからだ)

F

face approval 「顔の承認」：映画の宣伝やプロモーショ
ンで俳優の写真やイラストを使用する場合には、本人

が承認する必要があるという契約上の権利。

fanzine ファンジーン：映画やテレビ番組のファン向
けの雑誌。▷ *fan magazine* から。 *fantasy magazine*
(空想科学小説のファン雑誌)の意味でも使う。

fave フェイブ：お気に入り。▷ *favorite* から。

favored nations (最) 恵国 (待遇)：(契約条項の内容
が) 収益、俳優の序列、楽屋の大きさなどに関して、当
事者が当該の映画製作で最もよい待遇を受けることを
述べている。▷ *most-favored nation (MFN)* (最恵
国)をもじった用法。 *This contract has to be fa-
vored nations, or Uma doesn't want the work.*
(この契約内容を最高の待遇にしてくれ、さもないと
ウーマはその仕事をやらないぞ)

field producer ニュース取材現場で実際にインタビュー
をする下働きのスタッフ。▷放送は別の人物が行う。

Fishtar Kevin Costner が巨費を投じた失敗作
Waterworld (1995年)のニックネーム。▷同じよう
に失敗した作品 *Ishtar* (『イシュタル』エレイン・メ
イ (Elaine May) 監督の1987年米国作品) にちなんで。
Kevin's Gate とも言う。

fix it in the pinks 台本の中の問題箇所や会話の不
十分な箇所を書き直すこと。▷書き直しのたびに紙の色
を変えてピンク、黄、青色が使われるが、そのピンク
色から出た表現。

flack フラック：映画の広報担当者。▷好意的でない
(unflattering) 言い方。映画広告代理業者の *Gene
Flack* にちなむと言われている。

flash and trash フラッシュ・アンド・トゥラッシュ：
視聴率を上げるためにセンセーショナルな話題を特集
するローカルニュース番組。▷ばかにした (derisive)
言い方。

flop sweat 演技上の極度の不安。客の前で冷や汗をか
く喜劇俳優の場合について言うことが多い。

fluffer, the 「膨らませる人」：ポルノ映画の撮影の合
間に俳優を勃起させたままにしておく役の人。

foam the runways 「滑走路を急いで消火しろ」：▷ニュー
ス番組の一部ができていないのに放送時間が迫ってい
る場合に番組プロデューサーが使う言葉。準備を急が
せるために使う。*foam* は「消火器の泡を撒く」の意味。

focus puller カメラマン助手。▷レンズの焦点 (focus)
を調節するところから。

fold and hold 「たたんでしまう」：▷撮影用のセット
を取りはずし、次の撮影まで小道具を保管しておく。
*We need to fold and hold the police squad-room
set. They're filming a Pepsi commercial on that*

stage tomorrow. (警察署の警官集合部屋のセットをたたんでしまっておかないといけない。明日はそのステージでペプシの商業撮影があるんだ)

Foley, foley フォウリー：撮影済みの映画フィルムに効果音を付け加える技術。▷例えば、足音、殴るときのパンチの音(この音は牛肉を殴りつけて出す)、蝶番(ちょうび)のきしむ音など。この技術を開発した Jack Foley (1891-1967) の名前から。この技術を担当する人を *Foley artist* と言う。Have the *Foley artist* do the run across the gravel driveway, and give it lots of crunch. (フォウリー・アーティストに砂利道のドライブウェーを走らせてザグザグ踏みつける音をたっぷり付けよう)

four-wall, v. フォーウォール：映画館を借り切って、映画を上映し、観客や映画配給業者の関心を高める。

frankentits フランケンティッツ：整形手術によって巨大になったおっぱい。▷成人映画や雑誌に見られるもの。*Franken-* は食物の名前に付けて「遺伝子組み替えて作り出した、バイオ作物の」の意味がある接頭辞。*tits* は「おっぱい」。

French hours フレンチ・アワー：昼食休憩の全くない仕事で忙しい長い一日。

fresh air exhibitor 「(空気の新鮮な)野外映画館主」：ドライブイン方式の映画館。*cow pasture, mudhole, open air operator, outdoorer, passion pit, rampitorium, underskyer* などとも言う。

F/X, FX 特殊効果 (special effects)。▷ effects と発音が似ていることから。また、*SFX* ともする

G

gaffer 映画やテレビの撮影セットの照明係。

gangbang ギャングバング：別の作家と共同して台本を書く。

gearhead 「ギアのボス」：放送機器を扱うエンジニア。

gobi ゴーバイ：映画会社と袂を分かっクライアント。▷ go bye (では、おさらば) から。⇒ **ankled**

gobo ゴーボー：カメラのレンズに余分な散光が入らないようにする黒く塗られた遮光板。

gofer ゴーファー：製作会社などで地位の低いスタッフ。▷使い走りの仕事を受け持つ雑用係。*go for* ~ (「~を取りに行く」) から。

golden retriever 「ゴールデン・レトリバー・ヴァー」：海千山千の映画会社重役。

golden time ゴールデン・タイム：超過勤務時間。▷手当てが支給される。

green light, v. グリーン・ライト：映画の製作を認める。

green light, adj. もうすぐ製作が認められる状態。

green out グリーンアウト：撮影用セットやロケ現場で植栽を行う。▷視覚的效果をねらったり、撮影上邪魔になる物を隠すために行う。

grip グリップ：照明係で力仕事を担当するスタッフ；撮影助手。⇒ **key grip, move or bleed**

gross player 大スター。▷興行収入 (gross income) の一定割合を出演料として要求できるほどのスター。

H

hairball ヘアボール：状況喜劇 (sitcom) の中で、感傷的でうっとうしい場面。▷その場面を締めくくるものを **huggy tag** と言う。After the wacky chase around the apartment, let's stick in a *hairball*. (アパートのまわりでのどたばたの追跡の後には、ヘアボールの場面にしよう)

hair in the gate カメラのフィルム保持枠 (film gate) に入り込んだ異物。▷カメラマンがこう呼ぶ。髪の毛 (hair) とは限らない。

hammock ハンモック：人気番組と人気番組との間に視聴率の低い番組を入れる。▷そうすれば、視聴者が3つの番組を継続して見てくれるのではないかと期待して行う。

hand props 撮影シーンの中で俳優が手にする小道具。例えば、雑誌、短剣、万年筆など。▷ *smalls* とも言う。*props* は *properties* の略語。

handshake deal 2つのグループが正式の契約なしに仕事をする事に同意すること。

hang a lantern on it 「ちょうちんをつるす」：短いワンカットを入れてストーリーの中のあるポイント (plot point) を強調する。▷ We'd better *hang a lantern on it* and show Ashley listening outside the door when Brad phones his new mistress. (ワンカット挿入して、ブラッドが新しい女に電話しているところで、ドアの外ではアシュリーがそれを立ち聞きしているシーンを撮ったほうがいいだろう) ⇒ **plot point**

hang the black and poke the eyes out on the babies 「黒を掛けてベビーから目玉をくりぬく」：▷カメラに黒い布を掛けてフレネルレンズ (Fresnel lens) をはずすこと。ADとかカメラマンとか照明係からの指示表現。

heat 優秀な新人の出演者や脚本に対する世間からの素晴らしい評判。

heavy 映画やテレビ番組の悪役。

helm, v. 映画の製作指揮をする；監督をする。▷ *helm* には操舵装置の意味がある。⇒ **helmer**

helmer ヘルマー：映画監督。⇒ **helm**
hero 主演俳優 (lead actor) が使う小道具。
he's a ~ / she's a ~ ▷映画宣伝用のポスターで主役を紹介するのに使われる常套語句。
hiatus 中断, 休止。▷そのシーズンのエピソードを全て撮影した後に製作を止める期間。
hickey 映画についての報道の好意的な論評。
high-concept, adj. ハイコンセプト：(映画が) 観客に広くアピールする要素をもった。
high concept ストーリーが簡単明快に説明できる映画。▷例えば, *King Kong*, *Poseidon Adventure*, *Airplane* など。
high schmooze Hollywood の有力者 (player) が多く集まるイベント。⇒ **player, schmoozefest**
HINT ヒント：ローカルニュース番組の中での司会者 (anchor) たちがやる内容の乏しいふざけた冗談話。▷番組の残り時間を埋めるためにする場合は *drooling* と呼ばれる。*Happy Idiot News Talk* の頭文字。また, そのような司会者たちのことも *HINT* と呼ぶことがあるが, その場合は, *Happy Idiot News Team* の頭文字である。⇒ **drooling**
hit and run 「ひき逃げ」：連続メロドラマ (soap opera) の中で, ある登場人物が, 他の登場人物の気持ちをかき乱すに十分な時間登場していること。⇒ **soap**
Hollywood, n., adj. 非常に商業的な [もの], うわべだけの [もの], 安っぽい [もの]。▷ *I suggest you shoot in New York. Otherwise, it will become all Hollywood and lose any depth.* (ニューヨークで撮影することを提案するよ。さもないと, 作品がうわべだけの, 深みのないものになるよ)
Hollywoodland ハリウッドランド：かつての Hollywood Hills の住宅団地。▷派手な看板を立てて宣伝した。このような看板はその後 Hollywood Sign と呼ばれた。
Hollywood minute, a 「ハリウッドの1分」：1年のこと。
honey wagon ハニー・ワゴン：トレーラーの一団。▷ロケ隊のための *cast room* と呼ばれる出演者用の個々のトレーラーやポータブルトイレなどから構成されている。
hook フック：ストーリーを他とは異なるものにしていて特別なもの。▷観客を引きつけるもの。*The plot's pretty standard cop stuff, but there's a great hook - our hero was exposed to radiation that made him invisible.* (ストーリーは全く普通の警官ものだが, 観客をひきつける大きなものがあるんだーヒーロー

が放射線を浴びて人には姿が見えなくなったってんだ)
horse blanket 「馬の胴掛け」：出演俳優をさらに魅力的にするためにカメラマンが行ういろいろな仕掛け。
hot concept 非常に興味をそそるような物語のアイデア。
hot property 世間の前評判が非常に高く大ヒットを予感させる台本。
hot read (他にも面白そうなものがあって) 大急ぎで読まなければならないストーリー。
hot script 大当たりする可能性があったり, 当たる脚本家の作品で, 急いで読んで製作の可否の答えを出さなければならない脚本。
hot set 射撃のシーンのためにすっきり整えられたセット。
huggy tag ⇒ **hairball**
hummer 「鼻歌を歌う人」：映画の背景音楽 (score) の作曲家。▷自分は主旋律を鼻歌で歌い (hum), 完成までの残りの作業 (編曲や展開) は別のゴーストライター (ghostwriter) に任せる。映画の最後に表示されるスタッフ一覧 (credit) の中で, そのゴーストライターの名前が紹介されることはめったにない。
hunk 演技力はともかく, 容姿で有名な男優。⇒ **bimbo**
hype 過度に宣伝する。また, そのような宣伝。▷ *to hype a movie* (映画をおおげさに売り込む) / *The hype on this movie is incredible!* (この映画の売り込みはすごい!)

I

idiot card 「とんまカード」：自分のセリフになったことを役者に知らせるキューカード。
If it bleeds, it leads. 「血が流れたら, トップニュースになる」：▷ローカルニュース番組が凄惨な (gory) 犯罪や事故を特集する場合の表現。
illustrated radio 「写真入りラジオ」：トーク (talk) ばかりのテレビ番組。▷軽蔑的な言い方。
industry, the 映画産業。▷テレビ・映画産業全般を指すこともある。⇒ **business, the**
industry professional 映画産業で影響力のある人。
indy 独立したプロデューサー。▷ *indie* とも書く。*independent* から。
indy prod 独立したプロダクション。▷ *indie prod* とも書く。*independent production* から。
infotainment 娯楽報道番組。▷視聴者を楽しませて引きつけるためにニュースの報道性を犠牲にしたもの。*information + entertainment* からの造語。
ink, v. 契約書にサインする；新しいエージェンシーのクライアントと契約する。

ink session 契約にサインするための会合。

inky dink 小さな白熱光 (incandescent light)。▷撮影シーンの中の特定の人物や物に当てる小さな主光線 (key light)。スターに当てられることが多い。*inkydinky*, あるいは *baby kicker* とも言う。*inky-dink* は侮蔑的な意味で「真っ黒い黒人」。

insert 挿入画面。▷状況をはっきりさせる目的などで挿入される画面。例えば、電話帳に掲載されている名前にペンで丸印をつけている手元のアップの画面や、床に散らばっているガラスの破片のアップの画面など。

in the can 撮影が終了したが未だ封切りになっていない映画。▷「フィルム缶に収められたままの」ということ。

in turnaround 製作交替中, 配給元交替中。▷台本を購入した映画会社がまだ台本を製作しておらず, 他の映画会社がその台本を購入できる状態にある。I understand the baseball-playing-chimp script is *in turnaround*, and Universal may look at it. (例の野球をするチンパンジーの話の台本はまだ製作されていない。ユニバーサルが目をつけるかもしれない)

Iowa アイオワ: ど素人。Did you read this buddy-story script? Strictly *Iowa*. (この男と男の友情話の台本を読んだかい? 全くのど素人の作品だな)

J

jet, v. ジェット: 行く。Look, I gotta *jet*. Can we hook up tomorrow? (いいかい, 行かなくてはいけないんだ。明日会えるか?)

joke desert 「ジョーク砂漠」: ユーモアに欠ける台本のページ。

juice 「汁」: テレビ番組のレポートをより活気あるものにするために加えられるもの。

juice boy ⇨ **sparky**

juicer ⇨ **sparky**

jump cut ジャンプ・カットあるシーンから別のシーンへいきなり移ること。▷ストーリーの展開を速くするために行われる手法。

K

kamikaze カミカゼ: 小道具のプロ。

Kevin's Gate ⇨ **Fishtar**

key grip キーグリップ: カメラの移動やセットの組立を担当するスタッフ。⇨ **grip**

kicker キッカー: ニュース放送が終了する直前の陽気な話。⇨ **tag**

kidvid キッドビド: 子供 (kid) 用テレビ番組やビデオソフト。▷ *kid + video* から。

knife-o-suction 映画の宣伝ポスターに写る俳優の不必要な贅肉を取り除くこと。▷ **Slim Fast** とも言う

knowers telling knowers 「知っている人がすでに知っている人に告げている」: ある登場人物がすでにそのことを知っている別の登場人物にそれを話すような台本執筆上の不備。

Kodak, the コダック: 映画撮影用カメラ。

L

leg(s) 興業上の人気の息が長いこと。▷ That film's got *legs!* (あの映画は息が長い!)

legit 映画より舞台劇 (legitimate theater) に属するもの。

lens 映画を撮影する

“Let's do lunch!” 「(ビジネス) ランチをご一緒にどうですか」: ▷しばしば口先だけのビジネス・ランチの誘い。

limbo 「忘却の淵」: セットの無い漠然とした状況。▷連続メロドラマ (soap opera) で使われる工夫。⇨ **soap**

log line ログ・ライン: 台本を1文か2分で要約したもの。▷台本を最初に読むリーダー (reader) が書く。⇨ **reader**

lose 取り除く (get rid of)。▷ Let's *lose* that car in the background. (後ろのあの車をどけよう)

M

majors, the 大手映画撮影所。

Makita 撮影助手 (grip) たちが使うコードレスドリル。▷電動工具や木工機械などを製造販売する株式会社マキタ (本社: 愛知県安城市, 創業: 大正4年3月21日, 設立: 昭和13年12月10日, 資本金: 242億361万円, 代表者: 取締役社長 後藤昌彦, 従業員数: 3,117名) の製品。関連会社は日本国内に3社, 海外は米国など30社。動詞や形容詞としても使われる。Hey, come over me and *Makita* some screws for me. (おい, こっちへ来てマキタしてくれ (ネジを締めてくれ))

man-maker ⇨ **apple box**

marquee マーキー: 誰もが認める大スター。▷スポーツ選手や政治家の場合にも使われる。No question about it—Jim Carry is a *marquee* talent. (間違いないことだ—ジム・キャリーは大スターだ)

martini マティーニ: その日の最後の撮影。▷最後のワンカット。仕事を終わりにしてマティーニ (martini) でも飲もうか, といったところから。Okay, gang; this two-shot will be the *martini*. (よし, みんな。この2人の場面で今日は終わりにしよう)

meat puppet 知性のあまりないニュース番組の司会者。また、「俳優」：のことを指す場合もある。▷ *meat puppet* には俗語で「売春婦」：の意味がある。That *meat puppet* couldn't say the name of the program without teleprompter. (あのだめなニュースキャスターはテレプロンプター [画面に写らないようにニュース原稿を拡大して見せる商品名 TelePrompTer] なしでは番組名も言えなかった) ⇒ **meat with eyes** **meat with eyes** 俳優。⇒ **meat puppet**

Mickey Rooney 撮影カメラを載せて移動させるドリー (dolly) と呼ばれる車を這う (creep) ように動かしながら撮影すること。▷ Mickey Rooney (1920-) は、子役俳優として人気を呼んだ米国の映画俳優 (本名 Joe Yule, Jr.)。As She steps over to get the gun from the desk drawer, we'll do a *Mickey Rooney*. (彼女が机の引き出しから拳銃を取ろうと近づくとところでミッキー・ルーニーでいこう) ⇒ **Salvador**

mister boys エージェンシーのメール・ルーム (mail room) のスタッフ。▷ *mail room* の頭文字の m.r. と Mister の略語の Mr. から。

monster モンスター：映画の大成功。▷ *E.T. was a monster hit.* (『E.T.』は大成功だった)

moo print 完璧な封切り用プリント。

M.O.S. エム・オー・エス：サイレント場面▷その場面の音響効果が必要ないことを台本上で表す略語。*mit out sound* の頭文字。*mit* はドイツ語で 'with' の意味。

move or bleed 「どかないと血が出るぞ」：▷照明係が照明の邪魔になる所にいる者に向かって急いでどかないと重さ300ポンドもある照明ランプを頭の上から落とすぞ、と注意を促すことば。⇒ **grip**

mudhole ⇒ **fresh air exhibitor**

murder-your-wife brick 「妻殺し用レンガ」：撮影で使用される模造レンガ。▷米国の映画俳優 Jack Lemmon (1925-) が主演した1965年のコメディ映画 *How to Murder Your Wife* (「女房の殺し方教えます」) の中ではじめてこのレンガが使用されたことから。

N

nets ネット, 「網」：大手テレビネットワーク。▷ ABC, NBC, CBS, Fox の4つ。

nine iron 「9番アイアン」：シャベル (shovel)。▷ *Get me a nine iron.* (シャベルを取ってくれ) [撮影助手が使う道具類の載せてあるトラックに向かって]

nonpro ノンプロ：娯楽ビジネス界以外の出身者。

nostril shot 人物の見苦しい映像。▷カメラの角度が悪くて見えなくてもよいところまで見える。nostril は「鼻の穴」。

NTBSLT 「これは違うが、これに似た何かが良い」：▷ジョークが面白くない状況喜劇 (sitcom) の台本について書かれたコメント。Not This, But Something Like This の頭文字。⇒ **sitcom**

numbers 興業収入 (receipts) ; ボックスオフィスでの切符の売れ行き。▷ *Batman* racked up huge numbers! (『バットマン』は大きな収入を獲得した)。TV ショーの場合はニールセン視聴率 (Nielsen rating) のこと。

O

oater 西部劇 (horse opera)。▷馬に与えられるオート麦 (oat) から。

on the nose (ストーリーが) 新味がない；単刀直入で細やかな筋立てやニュアンスに欠けている。▷一般には「寸分たがわず、きっかり」の意味。

open air operator ⇒ **fresh air exhibitor**

orphan project 「孤児企画」：撮影所内で見捨てられた企画。

Oscar nod 「オスカーの同意」：アカデミー賞にノミネートされること。

outdoorer ⇒ **fresh air exhibitor**

P

package 「パッケージ」：放送準備ができていないストーリー。▷ *Bob, I need your package by 3:30.* (ボブ, 3時半までに君の担当分が必要だ) ⇒ **TRT**

page-oner 1ページ目から書き直しが必要なほどお粗末な台本。▷ *page-oner* には「新聞の第一面記事, 新聞の第一面に載るような有名人」の意味がある。

painter 「画家」：メイクアップ係。

Pasadena パサデナ：(1)台本を不採用にする；(2)映画のオーディションで退屈なパーソナリティーや風変わりな行動などの理由で合格しない応募者。▷間投詞的に, “*Pasadena!*” (これは見送りだ!) のようにも使う。“*pass on this one*” (これを見送る) の音に似た語として使ったもの。Pasadena は Los Angeles の東にある市で, ローズボウル (the Rose Bowl) が行われるスタジアムがあることで有名。

passion pit ⇒ **fresh air exhibitor**

pay or play 映画が実際に製作されなかった場合でも, その映画企画に関して契約した映画スター, 監督, あるいは作家に対する報酬を製作会社側が保証するという内容の契約条項。

- phone it in** いいかげんに演技する。
- pieces of business** テレビ番組と映画
- pimp fee** エージェントの受け取る手数料。▷通例10パーセント。文字通りは「ポン引きの手数料」。
- pitch** 映画会社の重要人物に企画の売り込みをする。
- player** 映画業界の大家。通例、プロデューサーやエグゼクティブ・プロデューサーのこと。**wheel** とも言う。
- plot point** プロット・ポイント：劇中のターニング・ポイント。
- points** (有力なディレクター、俳優、作家が主張する) 映画製作から上がる儲けの取り分。
- polish** 磨き上げ：台本を練って手直しをすること。▷書き直し (revision) ほどの大がかりなものではない。I've got to do a *polish* by Monday. (月曜日までに台本の手直しをしなければならない)
- positive word-of-mouth** 映画を見た人の好意的な評判。▷The picture generated *positive word-of-mouth*. (その映画はよい評判を呼んだ) ⇒ **word of mouth**
- P.O.W.** 絶え間なく凝りすぎるほど練って書かれた台本。▷ *perpetually overwritten* から。エージェンシーが使う表現。
- power lunch** ハリウッドの出演者たちのランチを食べながらの仕事についての会合。▷ *power breakfast* もある。
- props that eat** 「食べる口の付いた小道具」：エキストラ (extras)。
- PUC** ピューク：連続メロドラマ (soap opera) の中で、ある登場人物の生活の中に突然登場してくるその人の子供。▷ *Previously Unknown Child* の頭文字。「puke」のように発音される。⇒ **soap**
- puff piece** 取るに足らない、よいしょ記事。▷有名人の横顔を紹介する記事に多い。
- “**Punch it up!**” 「(台本の、特に) 会話の部分をもっときびきびと面白くして!」▷作家に対する指示。punch up は「台本に活気や興奮を与える」という意味。⇒ “**Dial it up!**”
- punch up** ⇒ “**Punch it up!**”
- put up a shingle** ⇒ **ankled**

Q

quote 俳優が自分の出演した最新作で受け取る報酬。

R

Rachel, the レイチェル髪▷状況喜劇 (sitcom) *Friends* (NBC系で1994年放映開始) の中で Jennifer Aniston 演ずる Rachel Green の髪型から。⇒ **sitcom**



『TVシリーズ&スターズ』
PART3, 近代映画社, 1999, p. 70

- rampitorium** ⇒ **fresh air exhibitor**
- reaction shot** 直前のショットに対して顔に現れる反応をとらえるショット。
- reader** リーダー：映画会社に提出された台本を最初に読む (read) 人。▷概要と評価を付けて重役へ提出する。*story analyst* とも言う。⇒ **coverage, log line, rec**
- real heavy coin** 大金。
- rec** 台本を映画会社へ推薦する。▷台本に最初に目を通すリーダー (reader) が行う。*recommend* から。⇒ **reader**
- reel** リール：最新・最高作品の複数のビデオ作品を1つのテープに続けて録画したもの。▷I'll send you a *reel*. (リールを1巻送るよ)
- reversal** インタビューを受けている人の言葉に反応しているリポーターを撮ったショット。▷後で録画してインタビューの映像に挿入されることが多い。
- reverse** 同じ動作を反対からもう一度撮ったショット。▷*reverse shot* または *reverse angle shot* とも言う。Let's come around and get the *reverse* on thier argument. (向きを変えて彼らの議論のリバース・ショットを撮ろう)
- rhyme** 「押韻させる」：前の場面に出てきたあるものを、後の場面の中に出てくるものと関連させる。▷When he was a kid his grandfather beat him with a cane, right? We can *rhyme* it to the crowbar he uses later as a serial killer. (彼が子どものとき、祖父は彼をステッキで叩いた、そうだよな? そのステッキを彼が連続殺人犯として後で使ったバールと結びつけることができる)
- rip** ⇒ **rip-o-matic**
- rip-o-matic** 映画製作会社に企画を売り込む時に使うための、(映画の) 主要場面だけを録画したもの。▷**rip** とも呼ぶ。
- Rudin** ルーディン：たいへんな癪癪を起こす。▷すぐにかつとなる (rageholic) ことで悪名高いプロデューサー Scott *Rudin* の名前から。

rundown ニュース番組の全体の流れを詳細に記した
もの。秒単位で決められている。

Rupert's World ルーパート・ワールド：フォックス放
送会社 (Fox Broadcasting)。▷同社の最高経営責任
者 (CEO) であり、多くの新聞・雑誌・テレビ局を所有
している悪名高い Keith Rupert Murdoch (1931-)
の名前から。

S

SAG 映画俳優組合。▷1933年に創立の映画俳優とス
タントマンが加入する団体。National Office は、5757
Wilshire Blvd. Los Angeles, CA 90036-3600にある。
President は Richard Masur が務める。Screen
Actors Guild の頭文字。

Salvador カメラを載せて移動するために使われる車。
▷この車を *dolly* と呼ぶが、スペインの画家 Salvador
Dali (1904-1989) の *Dali* の部分との言葉遊びによるも
の。⇒ **Mickey Rooney**

Sam Brown サム・ブラウン：小道具係のところにあ
る警官用ガンベルト。▷肩に掛ける吊りひもの付いた
将校などが正装する際に用いる帯剣 [帯拳銃] 用帯革
(『リーダーズ英和』²)。英国の将軍 Sir *Samuel J.*
Brown (1824-1901) の名前から。

save the brass 「真鍮鉸を取っておく」：映画のくだら
ない脚本を破棄する。▷台本を綴じ込んでいる真鍮鉸
(brass tacks) だけを捨てないで保存して、他は処分
することから。

schmoozefest おしゃべりをする集まり。▷ *schmooze*
(「おしゃべり、むだ話」と *-fest* (「にぎやかな集い」：
の意味の連結形) からの造語。⇒ **high schmooze**

sci-fi 空想科学小説。▷ *science fiction* からの略語。

screwperstar 成人映画界の有名人。▷ *screw + su-*
perstar から。

script doctor 「台本医」：台本書き直しの専門家 (*re-*
write specialist)。

seeking other creative venues 首になる。

set dressers ⇒ **swing gang**

shoot 映画の撮影。▷ *Nevada in August! No town*
for 75 miles! That shoot was hell. (8月のネヴァダ
だぞ! 75マイルもの間に町が一つもないんだ!あの撮
影は地獄だったよ)

shooter 「シュートの名手」：カメラを操作するスタッ
フ。▷取材スタッフの中で身長が一番高くて屈強であ
ることが多い。

shorty ⇒ **baby legs**

show runner 有力なプロデューサー。

sitcom テレビ・ラジオの連続ホームコメディ。▷登
場人物と場面設定とのからみで笑わせる状況喜劇。
situation comedy からの略語。

six-figure deal 「6桁の商談」：10万ドル台の映画製作
商談。

sked スケジュール (*schedule*)。▷ *My show is finally*
on the network sked! (私の番組がついにキー局の放
映スケジュールに入るぞ!)

skin 車両を映画用に「化粧」すること。▷転写式のス
テッカー (*decal*) や磁石で付ける標識 (*sign*) などを
使う。例えば、何も車体に書かれていないセダンにス
テッカーを貼り付けて郡保安官 (*county sheriff*) の
パトロールカーに化粧し直したりする。

skin flick 「スキン映画」：ポルノ映画。▷ *flick* には
「映画」：の意味がある。つまり、肌 (*skin*) を露出する
映画ということ。

slam dunk 大成功だ。▷間投詞として “*Slam dunk,*
baby!” (やったぜ、ベビー) のように使う。もとも
とは、バスケットボールの試合でスラムダンク (つま
り、ダンクショット (*dunk shot*)) のこと。

slasher (movie [film]) ホラー映画 (*horror movie*)。
▷映画の中で犠牲者が切り刻まれ (*slash*) て出血す
るところから。例えば、*Night of the Living Dead* (1990
年) や *The Texas Chainsaw Massacre* (1974年) など。
cf. splatter movie

Slim Fast ⇒ **knife-o-suction**

smalls ⇒ **hand props**

snuff (movie [film]) 実際に人が死ぬ猟奇 (ポルノ)
映画。▷製作は違法である。

soap ソープオペラ。▷テレビ・ラジオの連続メロドラ
マ。 *soap opera* から。

sound bite サウンドバイト：夜のニュースに適した簡
潔で要領を得た引用。

spaghetti western マカロニウエスタン：イタリア人
のキャストでイタリアで撮影された西部劇映画。▷有
名な米国人俳優は出演していない。英語による吹き替
えがされている。典型的なマカロニウエスタンの監督
に Sergio Leone (1929-89) [*A Fistful of Dollars*
『荒野の用心棒』(1964), *For a Few Dollars More*
『夕陽のガンマン』(1965) など] がいる。

sparky スパーキー：映画撮影セットの電気係 (*elec-*
trician)。▷ **juicer** とか **juice boy** とも言う。

spec 給与はいつか払って貰えると期待して仕事をする。
▷ *speculation* (投機) から。

spec script いつかは売れることを期待して書く台本。

- ▷すでに放映されている人気番組のために書くもので、自分の仕事にはならない。
- speed!** 音響効果係 (soundman) から監督への合図で、録音機の回転スピードが撮影カメラの回転スピードと同じになったことを知らせることば。
- spin, v.** スピン: もともと悲観的なストーリーに楽観的・前向きの味を付ける。▷ *spin master* (抜け目のない広報係)
- spit take** スピット・テイク: 状況喜劇 (sitcom) の中で、登場人物がおかしくて口に含んだ飲み物を噴き出すところを撮ったショット。▷ *spit* は「唾(を吐く)」: の意味。⇒ **sitcom**
- stag film [movie]** 男性向けポルノ映画。▷ *stag* に「成熟した雄シカ」: の意味がある。
- stand-up** スタンド・アップ: リポーターがカメラに向かってニュースをリポートすること。▷ *stand-upper* は「現場にいるリポーターによるニュース報道やインタビュー」のこと。⇒ **B-roll, walk and talk**
- star baggage** 「スターの手荷物」: 映画に出演している大スターに渡す心付け (perks) として別にとってある大きな予算。
- starrer** 著名なスターが出演する映画。▷ *star vehicle* とも呼ぶ。
- star system, the** スターシステム: 特定のスターや監督を呼び物にして仕上げた作品。
- star vehicle** ⇒ **starrer**
- sticks** スティックス: 三脚 (tripod)。▷ 棒 (stick) が3本あるところから。⇒ **baby legs**
- stretch** ストレッチ: 難しい、あるいは変わった役に取り組んでいる俳優。▷ 自分の通常の役を越えた新しい分野の役に挑む俳優のこと。stretch は「伸ばす」こと。
- strip show** ストリップ・ショー: 平日の5日間、毎日同じ時間帯に放送される番組。
- suits, the** 「スーツ族」: 創造性・独創性のない重役。▷ 現場で仕事をせずにスーツ (*suit*) を着ているところから。
- swamper** セットを取り扱うスタッフ。▷ *swamp* には「伐採した木の枝を払う」の意味がある。
- sweetening** 「甘味をつける」: 撮影終了後の仕上げの段階でサウンドトラックの質をさらによくすること。
- swing gang** スイングギャング: 撮影前にセットの準備をし、撮影後に片づけをするスタッフ。▷ 撮影スタッフ (shooting crew) とは勤務シフトが正反対になる。*set dressers* とも言う。

T

- tabloid TV** タブロイドテレビ: タブロイド紙のどぎついセンセーショナルな内容をそのまま真似しているテレビのニュース番組。▷例えば、Fox テレビ製作の *Hard Copy* など。
- tag** タグ: 番組の最後に付け加えられる短い場面。▷ 後で思いついた説明、陽気な話 (kicker), ジョークなど。また、ニュースキャスターの最後のコメント。⇒ **kicker**
- take a meeting** 仕事の打ち合わせに集まる。
- take factory** 「テイク (撮影) 工場」: 何回も撮り直しさせる俳優。
- talent** タレント: 俳優、歌手、ダンサーなどの出演者を指す一般的な語。
- talking head** 「しゃべる頭」: 首から上の大写しになった映像。▷ニュースキャスターやリポーターなどのこと。
- talk-to** 「相談相手」: 登場人物が恋愛問題などの秘密を相談する親友 (confidante)。
- That's my Hitler!** 「あれこそ私のヒトラーだ!」: 監督が役柄にぴったりの俳優を見つけたときの言葉。▷ 俳優だけでなく女優の場合にも使われる。
- 30/10** 映画の脚本の最初の30ページと最後の10ページだけにざっと目を通す。
- Tinseltown** 「金ビカの町」: Hollywood のこと。
- topline** 宣伝で最高の扱いを受ける; 主演する。
- topper** 最高責任者。
- trackers** ⇒ **D-head(s)**
- trades, the** Hollywood の3大業界新聞。▷つまり、*Variety, Weekly Variety, the Hollywood Reporter* のこと。より一般的には、全ての娯楽産業の刊行物を指す。
- trash TV** 取るに足らない、あるいはセンセーショナルな話題やゲストで悪名高いトークショー。▷軽蔑的な言い方。*sleaze TV* とか *sluts-and-nuts* とも言う。
- treatment** トリートメント: ストーリーの詳しい概要や、登場人物の台詞などがついた台本。
- TRT** 放送準備ができたニュースストーリー (package) の合計放送時間。▷ *total running time* の頭文字から。⇒ **package**
- turkey** 失敗作の映画。
- two-shot** ツーショット: 一つの画面に人物ふたりを取めたカメラの構図。

U

- U/5** 契約していない役者。▷ウエイター、ナース、殺し屋などの端役で、セリフが5行未満 (under five

lines) であることから。

undercrank 通常よりゆっくりとしたスピードでカメラを回す。

underskyer ⇒ **fresh air exhibitor**

upfront exposure (製作されなくても) 映画の企画のために前払いされた金額。▷ Fox's *upfront exposure* on the alien movie is something like \$2.5 million. (フォックステレビがそのエイリアン映画に前払いされた金額は2,500万ドル近い)

V

vamp バンプ: かつての Hollywood のセックス・シンボル。▷ *vampire* の短縮形。

Vanilla Oprah 「白いオプラ」: Ricki Lake (1968-) のこと。▷ John Waters 監督の *Hairspray* (1988年) のオーディションに、太っていて可愛らしく、踊って演技ができるという条件に合って合格した。後にトークショーのホストに転身した。Oprah は70年代からリポーターやキャスターをつとめ、80年代から昼のトーク番組 *The Oprah Winfrey Show* の司会者として人気を呼んだ米国の黒人テレビタレント・女優の Oprah Winfrey (1954-) のこと。この白人版だということ。

vanity show 「虚栄の番組」: 大スターをなだめて製作に入った映画製作。

video moment 心温まる場面、あるいは夜のニュースに適した簡潔な引用 (sound bite)。⇒ **sound bite**

W

walk and talk ウォーク・アンド・トーク: リポーターが移動しながら、その後をついて来るカメラの方を向いてレポートすること。⇒ **stand-up**

wallah ワラー: 映画のシーンに現実味が出るようにサウンドトラックに加えられるさまざまな音。▷ 例えば、後ろで話している人の話し声や聞き分けられない声など。 *walla*, *wallah rhubarb* とも言う。

walla, **wallah rhubarb** ⇒ **wallah**

wallpaper 「壁紙」: 挿入されるつなぎの映像。▷ After we show him being interviewed a while, we better lay in some *wallpaper* of him playing with his kids, fooling around in the kitchen, that sort of stuff. (彼がインタビューを受けている映像を少し流した後、彼が子供たちと遊んでいるところとか、彼が台所でぶらぶらしているところとか、そんな映像を張り付けた方がいい)

wannabe ワナビー: Hollywood 業界に入ることを望んでいる者。▷ 通例、年齢は若い。“I *wanna be like* ~” (~さんみたいになりたい) という言い方から。一般には

「歌手や有名スポーツ選手などの熱狂的ファン」のこと。

web ウェブ: テレビネットワーク。▷ Hollywood の業界新聞の中で使われる語。The comedian was signed by the *Alphabet Web* [ABC] for a family sitcom. (ファミリー・シットコム番組の配役としてアルファベット・ネットワーク [つまり ABC ネットワーク] はそのコメディアンと契約した)

wet stuff 「濡れ物」: セックスもの、あるいは暴力もの; またはその両者。

wheel ⇒ **player**

whirly ワーリィ: 高い角度からの撮影のためにカメラを高い位置に上げるリフト。

whodunit フーダニット: 殺人ミステリー作品。▷ 最後まで犯人は分からない。Who done it? (誰がやったのか?) から。

wide 映画の公開範囲が広い (上映する映画館の数が多) ▷ The Clint Eastwood movie is opening *wide*— something like 2,200 theaters. (そのクリント・イーストウッドの映画はワイドに公開されていて—2,200 くらいの映画館で上映されている)

wild posting 作品の宣伝キャンペーンを始めるために建物などを全面ポスターで覆う。

wild sound 映像なしで録音された音。⇒ **wallah**

Willis ウィリス: アクションと冒険がいったいの台本。▷ この種の大ヒット映画 *Die Hard* (1990年) の主演俳優 Bruce Willis (1955-) の名前から。

word-of-mouth 新作映画についての世間の評判。

wrangler 映画に出演する動物を扱う人; ハンドラー (animal handler)。▷ *animal wrangler* とも言う。⇒ **baby wrangler**

wrap 撮影の完了。

wring it out 「絞り出す」: トイレへ行く。

Y

yakker ヤッカー: トーク番組。▷ Hollywood の業界新聞の言い方。He's CBS's newest entry in the battle of the late-night *yakkers*. (彼は深夜のトーク番組の競争に CBS 系で新しく加わった)

yawner 面白くない番組や映画。▷ 欠伸 (yawn) を催させるくらい退屈なところから。

yo, Hollywood 「よう、ハリウッド」: Hollywood 業界の大物 (player) が別の大物に呼びかける親愛のことば。⇒ **player**

References:

- 『小学館ランダムハウス英和大辞典』第2版。小学館。1994。[『ランダムハウス英和大』]
- 『リーダーズ英和辞典』第2版。研究社。1999。[『リーダーズ英和』²]
- 『リーダーズ・プラス』研究社。1994。
- Beal, Suzy (1994), "L.A. Speak: Movie Poster Parlance," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday May 22, 1994, p. 12.
- Brooks, Tim and Earle Marsh (1995), *The Complete Directory to Prime Time Network and Cable TV Shows 1946-Present*. Sixth edition. New York: Ballantine.
- Castell, Ron (1995), *Blockbuster Video Guide to Movies and Videos 1996*. New York: Dell.
- Crotty, Jim (1997), *How to Talk American: A Guide to Our Native Tongues*. New York: Houghton Mifflin Company.
- Cuyer, A. Grey Le (1996), "L.A. Speak: Soap Opera Scribes," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday September 1, 1996, p. 10.
- ___ (1997), "L.A. Speak: Hollywood Agents," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday March 23, 1997, p. 10.
- Dunn, Jerry (1997), *Idiom Savant: Slang As It Is Slung*. New York: Henry Holt and Company.
- Freeman, David (1993), "A Hollywood Lexicon," *The New Yorker*, Vol. 69, Issue 35, p. 132.
- Galbraith, Jane (1992), "L.A. Speak," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday September 13, 1992, p. 14.
- Green, Jonathon (1987), *Dictionary of Jargon*. New York: Routledge & Kegan Paul.
- McNamara, Mary, (1991), "L.A. Speak," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday October 6, 1991, p. 8.
- McNeil, Alex (1996), *Total Television: The Comprehensive Guide to Programming from 1948 to the Present*. Fourth edition. New York: Penguin Books.
- Moloney, Kathleen (1991), "L.A. Speak," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday June 16, 1991, p. 9.
- ___ (1992), "L.A. Speak," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday January 12, 1992, p. 11.
- Raphael, Judy (1993), "L.A. Speak," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday August 8, 1993, p. 10.
- Scotti, Anna and Paul Young (1997), *Buzzwords: L. A. Fresh Speak*. New York: St. Martin's Press.
- Sheinkopf, Evelyn (1996), "L.A. Speak: Prop Department Lingo," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday August 18, 1996, p. 10.
- Vorhaus, John (1994), "L.A. Speak: Sitcom-Writers' Slang," *Los Angeles Times Magazine*, Sunday November 27, 1994, p. 14.
- Wilson, John Morgan (1998), *Inside Hollywood: A Writer's Guide to Researching the World of Movies and TV*. Cincinnati, Ohio: Writer's Digest Books.
- People*, January 1997, Vol. 47, Issue 1, p. 27
- 田中芳文 (1996a), 「病院の中のことば」『英語教育と英語研究』第13号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 63-79.
- ___ (1996b), 「病院における英語表現」『島根県立看護短期大学紀要』第1巻, pp. 55-64.
- ___ (1997), 「現代アメリカ英語における医療語」『時事英語学研究』第36号, pp. 61-72.
- ___ (1998), 「アメリカ英語の諸相—救出場面における医療語」『英語教育と英語研究』第15号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 87-109.
- 山田政美 (1990), 「SOB は『畜生』(son of bitch) か」『現代英語教育』第27巻, 第5号, 1990年8月号, pp. 36-37.
- ___ (1991), 「アメリカ英語の諸相—ボディビルのことば」『英語教育と英語研究』第8号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 27-35.
- ___ (1992), 「Ethnic Slurs の社会言語学」『英語教育と英語研究』第9号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 27-37.
- ___ (1993), 『現代アメリカ英語を追って』こびあん書房。
- ___ (1997), 「プリズン・スラング」『英語教育と英語研究』第14号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 33-41.
- ___ (1998), 「プリズン・スラング(2)」『英語教育と英語研究』第15号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 43-70.